

主な可決議案

◆課の設置に関する条例の一部改正
現在建設課に所属する農業土木に関するものを、産業経済課の所管とするもの。

◆職員定数条例の一部改正
五十三年度に採用予定の十五人を基準として改正するもの。

◆議会議員等の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正
家庭相談員五万九千円を六万三千五百円に改めるもの。

◆国民健康保険条例の一部改正
医療費の単価改正、受診率のアップ等による増加により、国保税を約三八割引き上げるもの。

◆市立小学校設置条例の一部改正
黒瀬小学校は五十三年度から在校生がなくなり、また今後当分の間入学の見込みもないので廃校となるもの。

◆市立幼稚園設置及び管理条例の一部改正
◆市立大森女学院入学手数料及び授業料徴収条例の一部改正
幼稚園及び大森女学院の授業料を、運営費の増加により、幼稚園については、月額市内在住者五百円、市外在住者十円、女学院についても月額千円を増額するもの。

◆国民健康保険高年齢療養費付基金条例
国民健康保険被保険者で、高額療養費の一部負担金の支払が一時的に困難なものについて、その費用の全額又は一部を貸付けるための基金制度を設けるもの。

◆消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
消防団員の報酬、団長九万円を十万円に副団長六万五千円を七万五千円に分団長四万八千円を六万円に副分団長三万八千円を三万二千円に部長二万四千円を二万八千円に班長二万二千円を二万六千円に団員二万円を二万二千円に改めるもの。

◆損害賠償の額の決定
交通事故による車輻修費九万三千八百二十円を支払うもの。

◆市立幼稚園設置及び管理条例の一部改正
◆市立大森女学院入学手数料及び授業料徴収条例の一部改正
幼稚園及び大森女学院の授業料を、運営費の増加により、幼稚園については、月額市内在住者五百円、市外在住者十円、女学院についても月額千円を増額するもの。

◆国民健康保険高年齢療養費付基金条例
国民健康保険被保険者で、高額療養費の一部負担金の支払が一時的に困難なものについて、その費用の全額又は一部を貸付けるための基金制度を設けるもの。

◆消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
消防団員の報酬、団長九万円を十万円に副団長六万五千円を七万五千円に分団長四万八千円を六万円に副分団長三万八千円を三万二千円に部長二万四千円を二万八千円に班長二万二千円を二万六千円に団員二万円を二万二千円に改めるもの。

◆損害賠償の額の決定
交通事故による車輻修費九万三千八百二十円を支払うもの。

◆市立幼稚園設置及び管理条例の一部改正
◆市立大森女学院入学手数料及び授業料徴収条例の一部改正
幼稚園及び大森女学院の授業料を、運営費の増加により、幼稚園については、月額市内在住者五百円、市外在住者十円、女学院についても月額千円を増額するもの。

◆国民健康保険高年齢療養費付基金条例
国民健康保険被保険者で、高額療養費の一部負担金の支払が一時的に困難なものについて、その費用の全額又は一部を貸付けるための基金制度を設けるもの。

◆消防団員の定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
消防団員の報酬、団長九万円を十万円に副団長六万五千円を七万五千円に分団長四万八千円を六万円に副分団長三万八千円を三万二千円に部長二万四千円を二万八千円に班長二万二千円を二万六千円に団員二万円を二万二千円に改めるもの。

◆損害賠償の額の決定
交通事故による車輻修費九万三千八百二十円を支払うもの。

53年度一般会計

当初算 66億3,900万円

▽五十三年度国民健康保険特別会計
歳入では、所得割で現行税率百分の四・二を百分の五・〇に、資産割で百分の三・〇を百分の四・〇に、均等割を五千五百円から八千円に、世帯平等割を八千円から一万円に、約三八割の国保税の増収。これに対して、歳出の九二割を占める保険給付金は、五十二年二月に実施された医療費改訂の平年度化をして算出。国の予算は一九割あまりの増を見込んでいます。

▽五十三年度水道事業会計予算
収益的収入総額一億八千七百九十五万円、同支出額一億八千六百三十四万円。資本的収入額六千八百万円、同支出額九千三千万円。

▽五十三年度住宅改修金貸付事業特別会計予算
同和地区の住宅事情を改善するための資金の貸付けを目的とするもので、予算額九千八百四十万円、前年度より〇・六割の伸びとなっています。

また、三月市議会定例会に引き続いて三月三十日は臨時市議会が開かれ、上程された五十二年一般会計補正予算案が原案どおり可決されました。

可決された補正予算は六千八百八十四万円、歳入面では、農機具メーカーの法人市民税の落ち込みを減収補てん償でカバーした増収や特別交付税の決定による増収などが主なもの。歳出面では、市土地開発公社に肩代りさせてある消防庁倉庫地二千二百七十四万円や市庁舎東側駐車場用地二千八十八万円、債務負担行為による普済保倉庫建設一千二百九十二万円や福生承水溝改修二千八百二十四万円など、退職手当や公債費の減も加わります。

これにより、財政再建中の市は年間一億円の赤字解消のほか、市土地開発公社の赤字など約八千六百万円を解消したことになったわけで、今の六千八百八十四万円の補正により、予算総額は六十三億七千九百六十五万円となりました。

国保税アップ 医療費高騰に対処

が、市の特殊事情などを考慮し、二〇割の実質伸び率で予算化され、総額十四億八千三百三十三万円を計上、前年度より二八・七割の伸びとなっています。

また、辺地診療に要する経費九十五万円が直診助定として予算化されています。

▽五十三年度水道事業会計予算
収益的収入総額一億八千七百九十五万円、同支出額一億八千六百三十四万円。資本的収入額六千八百万円、同支出額九千三千万円。

▽五十三年度住宅改修金貸付事業特別会計予算
同和地区の住宅事情を改善するための資金の貸付けを目的とするもので、予算額九千八百四十万円、前年度より〇・六割の伸びとなっています。

また、三月市議会定例会に引き続いて三月三十日は臨時市議会が開かれ、上程された五十二年一般会計補正予算案が原案どおり可決されました。

可決された補正予算は六千八百八十四万円、歳入面では、農機具メーカーの法人市民税の落ち込みを減収補てん償でカバーした増収や特別交付税の決定による増収などが主なもの。歳出面では、市土地開発公社に肩代りさせてある消防庁倉庫地二千二百七十四万円や市庁舎東側駐車場用地二千八十八万円、債務負担行為による普済保倉庫建設一千二百九十二万円や福生承水溝改修二千八百二十四万円など、退職手当や公債費の減も加わります。

これにより、財政再建中の市は年間一億円の赤字解消のほか、市土地開発公社の赤字など約八千六百万円を解消したことになったわけで、今の六千八百八十四万円の補正により、予算総額は六十三億七千九百六十五万円となりました。

臨時市議会

公社の赤字など 八千六百万円を解消



3月市議会定例会

ことしの市政の方向を決める第百三十三回市議会定例会は、三月十日から二十三日までの十四日の日程で開かれ、昭和五十三年度一般会計当初予算六十八億三千九百六十六万円など予算関係八件や国保税の引き上げなど、二十二議案を可決、財産処分議案一件を継続審議として閉会しました。

大森小学校を新增築

災害復旧は大幅に減

五十一年度を初年度に取り組んでいる財政再建。一般会計であるとい見通しで順調に進行しているが、開発公社の未払金、債務負担行為の早期解消など財政構造の健全化へと実質的な赤字解消対策が望まれている。小笠原市政三年目。

三月定例会市議会の開会初日の冒頭、小笠原市長は「累積赤字は逐次減少しつつあるが、財政構造からみれば今なお多くの弱点をかかえており、引き続き経常費の節減合理化を図っていく。緊急課題の一つである空港問題は、国の方針が定まり現実の問題として具体的な対応策を迫られた。市民の利益を守り今後の発展を期するために、きめ細かい対策を検討して市政に反映させたい。同和対策特別措置法の最終年度、過去の業績の総点検を行い、積み残し事業の推進を図るとともに、法の延長強化を国に要請していく。

また、財政難から少しでも早く脱却して実質の伴う福祉行政へ、防災対策や交通網の充実、富農の

ための基盤整備、明るく豊かな都市づくりに取り組んでいく」と、今年の施政に対する決意を述べた。

今回の議会上程された議案は、五十三年度一般会計当初予算や国保特別会計予算、水道事業会計予算など予算関係八件、条例関係では、国保税の引き上げ、職員定数の改正や建設課所屬の農業土木関係を産業経済課へ所管替え、黒瀬小学校の廃校、市立幼稚園と大森女学院の授業料引き上げなどが主なもの。

開会初日の十日には、二十三議案が上程されたあと、前日継続審議となった五十二年一般会計歳入歳出決算など決算関係四件を認定。

十三日から十五日まで一般質問。吉村、岡林、堀川、西山、土居、竹内、中村、高島、平田、今井、島崎、小沢議員ら十二人から「空港問題、稲作転換、保育行政、同和行政など」について意見が出され、執行部の考えをたじました。十六日は、議案に対する質疑が

行われ、二十二日まで常任委員会審議。

最終日の二十三日は、委員長報告、討論のあと、上程された二十三議案のうち、五十三年度一般会計当初予算(総額六十六億三千九百六十六万円)……四十七面へ掲載など二十二議案を原案どおり可決、財産処分の一議案を継続審議としました。

また、議員提案の「公共交通確保のための法制化に関する意見書」と、市立小学校の校舎改築や県立農業高校南分校の跡地利用などの請願、陳情七件を採択、市立其同作業所確保などの請願、陳情三件を継続審議としました。

事業費を減額補正

可決された五十二年一般会計補正予算は、災害復旧や普通建設事業などの事業費確定による減額と、土佐電気鉄道赤字路線に対する補助金など新たな財政需要によるもの。

歳出では、土佐電気鉄道赤字路線補助金で電線路線三百九十九万円、バス路線一千六百九十九万円、納税組合補助金二百七十八万円、水道事業会計への繰入金二百八十三万円、大規模農道整備事業負担金四百八十四万円、山田農土地改良区負担金五百四十四万円、春野赤間線などの県営事業負担金一千三百三十六万円、防災無線負担金三百二十二万円、鷲ヶ池中学校改築にもなる開発公社への未払分四百三十三万円などを計上。

本年度執行できない、同和対策事業で二千八百九十三万円、農業費で団体営土地改良事業七百九十四万円、がけくずれ住家防災対策事業一千二百二十二万円、五十一年発生の災害復旧事業二千九百九十一万円などは減額されています。

この結果、補正総額は四百六十九万円の減額となりました。

しかし、歳入面では工事費に対する補助金や起債の減額もあり、新たな財政需要に要する一般財源は二千七百三十四万円増額したため、特別交付税をこの財源として計上、現計予算総額は六十三億一千七百八十一万円となりました。



民生費は総予算の46%、30億8,000万円

社会福祉

お年寄りや子供たち、恵まれない人々に春の日さしのようなあたたかい手をさしのべる施策のとおり、民生費は総額30億8,257万円で前年度より21.1%、5億3,758万円増額され、本年度総予算の46.4%を占めています。

- 同和関係団体補助金521万円、社会福祉協議会補助金200万円、社会福祉センター建設資金の元利補給に2,341万円。民生委員協議会補助金に315万円。
- 国民年金印紙購入基金への繰入金8,000万円。
- 身体障害者収容施設委託に838万円。更生医療給付等に941万円、福祉手当990万円。精神障害者のための収容施設への委託料2,401万円。

■お年寄のために、ホームヘルパー事業の委託に684万円、老人クラブ補助金506万円、老人医療3億2,328万円、老人ホームのお年寄りに1億1,869万円など。総額で4億7,156万円で、前年度より1億2,025万円の増額。

■同和対策事業では、国庫補助事業で1億6,266万円（七区弘石線新設、前浜下水排水路新設など）、県単事業で1億7,463万円（共同利用農機具購入、人工崖防災対策事業、住宅増設など）、市単事業で1,202万円（駐車場など）。総額で3億4,933万円で、前年度より4,152万円の減。

■児童福祉関係では、児童手当に4,129万円、乳児医療費1,200万

市民福祉重点

前年度比20%増

滞り負担の増という多くの犠牲の結果です。また、両開発公社への未払金とそれに対する金利の増を考慮すれば、実質的な赤字解消ではなく、赤字を防止しすぎないものです。と、所感を述べています。

本年度の予算編成については、「経常経費の削減合理化財政構造の改善、残された財源の枠内での市民福祉を重点に、目的達成のため効率のよい公平な施策を推進するものです。年度途中において計画以上、債務負担行為の早期解消、開発公社の未払金充当など、実質的な赤字解消のぞむ考えです。と、まだまだ厳しい財政再建の姿勢を示しています。

円、重度身障児医療費565万円、母子手当420万円。

■働く母親の代りに幼児を保育するための経費は、浜改田・吾岡保育所などの私立の保育所入所委託に5,616万円、15の市立保育所と3の児童館の職員134名の給与に2億3,364万円、産休や病休などの代替臨時職員などの賃金に3,490万円。前浜と南部の両保育所を統合して移転改築する大湊保育所の経費に1億4,240万円、東部児童

館建築に6,593万円。

■地区民の生活指導や就労指導などに活動している、中央・南部の両福祉館の運営費に2,273万円。■いろいろな事情によって生活扶助や医療扶助を受けている人のための生活保護費は、10億9,622万円で、前年度より1億8,473万円の増。生活扶助3億2,102万円、住宅扶助1,416万円、教育扶助713万円、医療扶助6億9,000万円など。

市民の財産と生命を守るための消防費は1億1,121万円で、前年度より9,812万円の増。

■消防署に要する経費に1億1,121万円、消防団などの非常備消防費に1,855万円。

■防化水そう新設（4カ所）では612万円、無線遠隔サイレン装置（4カ所）で250万円。ハシゴ自動車3,200万円など。



地域における住民を代表して、その住民の身のまわりの要請なり意志を民主的な場において解決し、生かしていく議会費は、9,142万円。

■議員報酬は4,584万円。議員の期末手当などに1,489万円、旅費に320万円、議長交際費に120万円。他に、職員7名の人件費や需要費など。

の当初予算

財政再建は「赤字防止、程度（51年度収支）」

昭和五十三年度の一般会計当初予算は、三月定例会市議会可決されました。

この予算編成にある基本方針によると、特に財政再建について述べておられます。

それには、「昭和五十一年度を初年度とした財政再建は、昭和五十一年度一般会計決算の半年度収支で一億二千二百八十四万円の赤字解消となり、さらに繰上げ払いなども含めると一億八千五百八十六万円の解消となります。一般会計のみでは、赤字解消は明るい見通しですが、これは財政構造の健全化による余裕をもったものではなく、行政水準の停

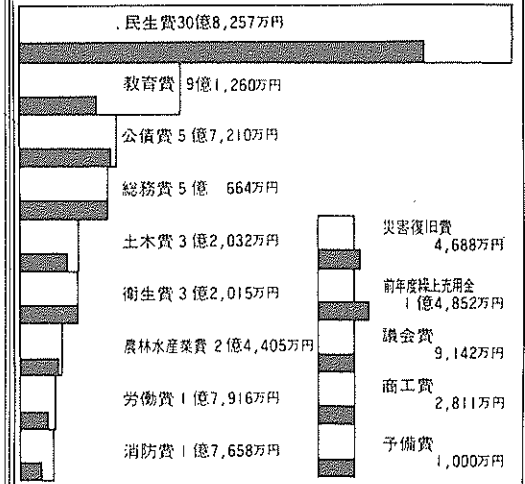


木

住居表示や市道整備など

日常生活になくならない市道や農道などの維持、改良、また都市計画、下水道などの経費に3億2,032万円で、前年度より27.2%、6,843万円の増。

- 道路作業人の賃金300万円、工事請負費640万円、原材料費200万円など、道路維持費に1,350万円。
- 道路新設改良費は1億9,160万円で、前年度より1億2,000万円の増。内容は、国庫補助事業で、奈路中谷線2,405万円、国道小瀬橋線3,455万円、浦原線2,100万円、自転車歩行者道2,000万円、県補助事業で、空港周辺整備600万円、一般市道整備では8,600万円。
- 橋りょう維持や新設改良に要する経費に808万円。
- 河川費は1,999万円、前年度より1,365万円の減。河川しゅんせつ補助金に240万円、がけくずれ住家防災対策工事6件に1,724万円など。
- 都市計画は3,249万円で、住居表示事業費414万円など。下水道には1,014万円で、生活環境施設整備事業5件1,000万円など。
- 住宅費は887万円。公営住宅管理費490万円、危険住宅移転事業396万円など。

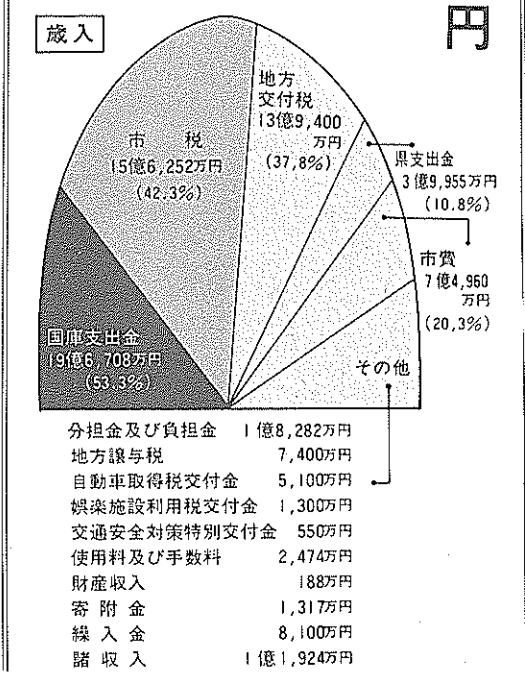


歳出（黒い部分は前年度）

一般会計は66億3,916万円

昭和五十三年度の一般会計当初予算は、六十六億三千九百六十六円となり、前年度当初予算と比べ二〇%、十一億三百五十八万円の増となっています。

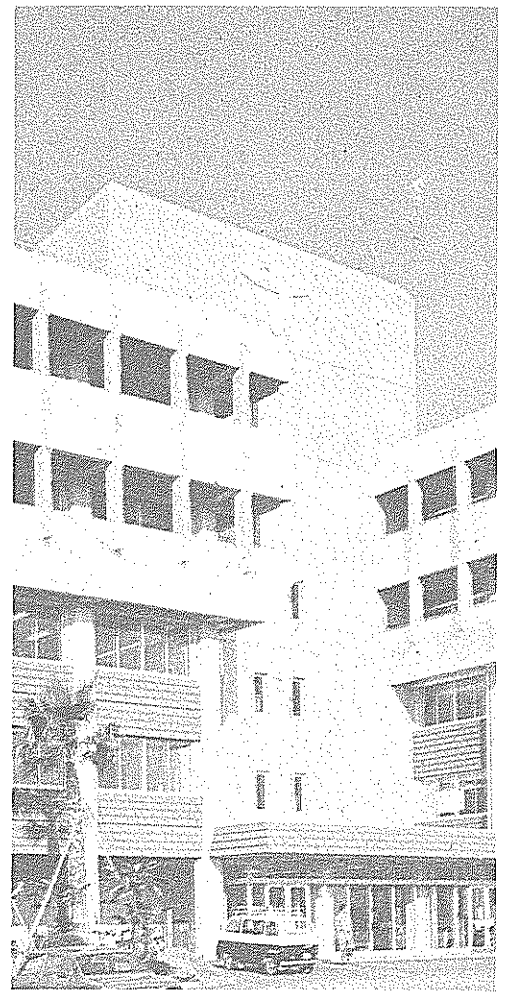
歳出のトップは、前年度と同様に民生費で三十億八千二百五十七万円。これは、総予算の四六%を占めています。災害復旧費については、二〇三〇年災害が少なかったことから、約一億六千万円の減額となっています。



春の市職員人事異動

空港対策係を新設

3年ぶりに12名の新採用



市の人事異動は四月一日付けで三月二十五日発表されました。今年、長年市に貢献された沢村須美江さんと後藤京さんの二名が退職し、新規採用では三年ぶりに行政・保母・技能職の十二名が採用となりました。

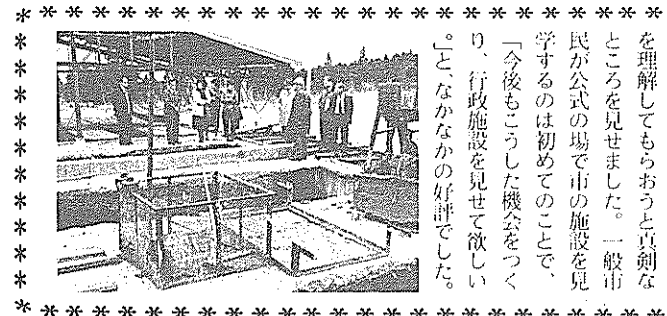
また、機構改革では当面する空港問題に対処するため、企画財政課内に空港対策係を新設し、建設課に都市計画係を設置、また同課の農業土木を産業経済課に所管替えをしました。税務課については賦課第一係を市民税係に、賦課第二係を資産税係に、徴収係を収納係に、それぞれ呼称を変更しました。

・勤続二十一年 後藤京(三和小学校技能職・同二十一年) 課長・主監

管理課長(税務課長) 島内日出見 税務課長(管理課長) 岩崎巖 同対策課長(福祉事務所長) 太郎田勝 福祉事務所長(同対策課長) 田中隆夫 企画財政課空港対策係長(同課長) 坂本延男 税務課市民税担当主監兼市民税係長(福祉事務所保護担当主監) 西川武夫 福祉事務所福祉担当主監兼次長(同課長) 東村達夫 建設課都市計画担当主監兼都市計画係長(同課長) 山本登士夫 教育委員会学校教育担当主監兼学校管理係長(同課長) 野口淳夫

課長補佐・係長・主幹

公害環境課長補佐兼環境整備係長(教育委員会学校管理係長) 高橋弘富 建設課長補佐(同課長補佐兼土木第一係長) 関田敬 水道局長兼管業係長(同管業係長) 松岡竜男 税務課長補佐兼資産税係長(同課長補佐兼賦課第二係長) 武内健一 教育委員会総務課総務係長(企画財政課秘書係長) 土河正雄 企画財政課秘書係長(福祉事務所社会係長) 上村朝英 企画財政課広報係長(産業経済課農林振興係長) 竹中守 企画財政課空港対策係長(同課長) 大川一水 公害環境課公害交通係長水道局長(窪田昭夫 産業経済課農林振興係長) 税務課賦課第一係長 岡田舜一 産業経済課農林土木係長(土地開発公社技管) 大塚俊介 建設課建築住宅係長(同課建築部計係長) 井上務 福祉事務所社会係長(公害環境課環境整備係長) 松岡孝行 税務課収納係長(同課徴収係長) 戸田隆彦 中央福祉館主幹(公害環境課補佐兼公害交通係長) 谷山豊彦 消防署救急係長(同消防係長) 植野求 同署消防係長(同救急係長) 森英郎 水道局主幹(南部福祉館主幹) 元吉勉 産業経済課主幹(消防署主幹) 元吉万寿子 福祉事務所主幹(公害環境課主幹) 森本寿子 同主幹(税務課主幹) 岡則栄子



市政モニターが 施設見学

広く市民から公募し、市民の生の声を聞き、市政に反映させていくとして始めた市政モニターも、度目。三月十七日は市政モニターを集め、黒瀬し尿処理場、三田のゴミ焼却場を見学しました。し尿とゴミの問題は、市にとって重要な事業だけに、説明の職員も少しでも市民に現状を理解してもらおうと真剣なところを見せました。一般市民が公式の場で市の施設を見学するのは初めてのことで、「今後こうした機会をつくり、行政施設を見て欲しい」と、なかなかの好評でした。

会計課主幹(同課主事) 橋詰信子 福祉事務所主幹(同所主事) 溝淵時美

主事・技師・主事補・技師補

企画財政課 竹村修(税務課) 川添豊明(産業経済課) 管理課 池田都好(会計課) 坂本千世(市民課) 溝淵慶喜(産業経済課) 産業経済課 松本義孝(税務課) 西山八郎(公害環境課) 神田三夫(教育委員会) 今西実(管理課) 田中俊光(建設課) 中村辰美(同) 池田慶一(同) 広瀬隆(同) 建設課 山岡由起子(市民課) 竹村久美子(選挙管理委員会) 福祉事務所 竹村道雄(選挙管理委員会) 竹村若江(建設課) 安松淳子(市民課) 会計課 関田泰子(市民課) 谷香代(管理課) 教育委員

会教育研究所 竹村満子(市民課) 同社会教育課 高木正平(福祉事務所) 浜田鏡子(同対策課) 税務課 下村京代子(管理課) 神田彰(農委委員) 高橋豊房(福祉事務所) 池内哲男(会計課) 市民課 中村さち(福祉事務所) 西岡博(税務課) 山本義典(公害環境課) 吉岡秀文(中央福祉館) 岸本敏弘(税務課) 公害環境課 千谷和敏(市民課) 福井富美子(教育委員会) 鍋島幹(同) 同対策課 沢本久美子(福祉事務所) 南部福祉館 西本健一(税務課) 選挙管理委員会 比江森礼子(公害環境課) 杉本健(産業経済課) 農業委員会 有沢正幸(産業経済課) 消防署 依光吉子(建設課) 消防士長 大谷克(同)

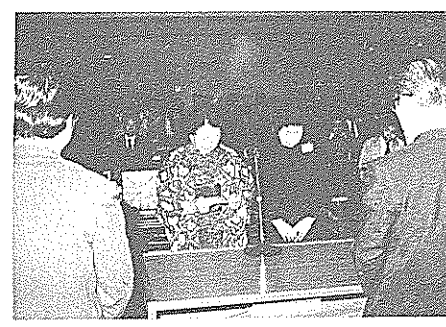
消防副士長 同田岡高昭(同) 保母・技能職

西部保育所 所長 久万富士(南部保育所) 伊尾木あや(同豊保所) 前野ふき子(東部保育所) 田村節子(あけぼの保育所) 高橋明子(里保育所) あけぼの保育所 眞鍋陽子(後免保育所) 南部保育所 所長 和田富士枝(西部保育所) 和田ゆう子(岩保保育所) 後免保育所 谷田陽子(西部保育所) 池知里佐子(同) 利岡一美(南部保育所) 長岡東部保育所 植野志津代(西部保育所) 高橋ひろ子(久礼田保育所) 山下美佐子(十市保育所) 国府保育所 久米佐知子(西部保育所) 久礼田保育所 田島順子(国府保育所) 島井俊江(同豊保育所) 同

豊保保育所 城武ちさ子(明見保育所) 森本登子(同) 野中治枝(大蔵保育所) 岩保保育所 西田美紀(西部保育所) 藤原和枝(大蔵保育所) 十市保育所 中村節子(里保育所) 稲生保育所 松村幸子(後免保育所) 大蔵保育所 松岡恵美子(東部保育所) 坂本幸子(同豊保育所) 前浜保育所 大前貞子(岩保保育所) 竹内富二枝(稲生保育所) 明見保育所 別役仁美(後免保育所) 里保育所 西村慶子(西部保育所) 大蔵小学校 建田節子(長岡小学校) 溝淵寿子(同) 大蔵小学校 原静恵(大蔵小学校) 長岡小学校 森本幸江(鷲ヶ池中学校) 森田真合子(久礼田小学校) 久礼田小学校 吉川美津(黒瀬小学校)

新採用

税務課 光野末吉(大埔 田淵博之(同豊) 福祉事務所 北村健一(立田) 十市保育所 田中敦子(浜改田) 同豊保育所 岩原佐賀(白木倉) 西部保育所 吉村恵子(小笠) 吉川理恵子(大埔) 前浜保育所 竹中世津(前浜) 長岡東部保育所 福岡久美子(東崎) 明見保育所 岩崎暁美(丹枝) 大蔵保育所 豊永恵子(稲生) 後免保育所 利岡美紀(小笠) 長岡小学校 西原美奈子(中倉) 後免野田小学校 岩川富子(園分)



ありがとう・ごろうさま

地方自治のために、長い間つくってこられた2名の「永年勤続の退職者を送る会」が4月7日、市役所で開かれました。退職されたのは、沢村須美江さんと後藤京さんの2人。この日は小笠原市長らから感謝状・記念品が贈られました。

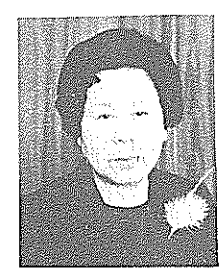
まず市長が、「まだまだ2人とも若いので仕事をしていくうえで支障はないのですが、行政の方針として残念です。健康に留意されて、第2、第3の人生に向ってご活躍を。また市職員のO.Bとしてご指導を。」とあいさつ。続いて職員組合から「もう1つ趣味をもって頑張ってもらいたい。」とねぎらいの言葉をかけました。

これに対し、退職者を代表して沢村さんが「長い間誤ちもなくここまでこられたことはみなさんのおかげです。今後は土と親しみ、それを生きがいとしていきたい。また市の発展を祈っています。」とあいさつがあり、送別会を終わりました。

退職者のよこが



沢村須美江さん。昭和22年旧久礼田村役場に入る。領石支所、久礼田中学校、国府小学校を経て北陵中学校(技能職)で退職をむかえる。住所は久礼田。



後藤京さん。昭和31年旧大蔵村役場に入る。大蔵小学校、長岡小学校を経て三和小学校(技能職)で退職をむかえる。住所は大埔。